

# 図書便り

いわき翠の杜高等学校 図書部  
令和元年5月16日 発行

新緑が目まぶしい時季になりました。10連休はどのように過ごしましたでしょうか？ 個人的には今まで読まずにため込まずに本を読むのには足りない日数でした。本はため込まずに少しずつ読んでいかねばならないことをこの歳で学びました。

平成から令和へと改元されました。生前退位ということもあり、お祝いムードに包まれた改元です。流行の話題には飛びついておきたい司書として、また図書便りの記事に毎回頭を抱える私に大変嬉しい改元でした。

## 《定期考査時の開室について》

今月はいよいよ中間考査が待ち構えております。図書室では今回も自習室として以下のように開室しますので、よろしければ利用してみてください。

期間：5月23日（木）から5月29日（水）

時間：10：00から12：00

16：00から17：20

※考査の時間割によっては15：00から開室するときもあります。  
また、考査期間中は通常昼休みに行っている開室は行いません。

## 《定期考査による貸出期間変更について》

考査期間を挟むため、貸出の期間の変更を行います。  
借りられる冊数の変更は行いません。

5月22日（水）から5月24日（金）までに借りた本

→5月31日（金）までの返却に変わります。

## 《お知らせ》

図書室では、各学級の図書委員のおすすめの図書を紹介するコーナーを設けました☆  
どんな本が紹介されているか確認してみてください♪

## 《本の紹介》

冒頭的话题で薄々察している懸命な方もいると思います。お察しの通り、新元号「令和」ということで今月は「令和」の出典の万葉集を紹介していきます。

### ○万葉集すべてに触れたい人へ○

『萬葉集 全訳注原文付』 911/ナ 講談社 中西 進著

すべての歌、序文に現代語訳と注釈がついています。古典や和歌に親しみがあまりない、という人にもわかりやすく読めるものになっています。わかりやすいのですが、ちょっとした辞書くらいの厚みと重さがあるので、貸出よりは図書室内で閲覧することをおすすめします。文字の大きさは一番大きく読みやすいです。

『新日本古典文学大系：萬葉集』 918/イ 岩波書店

岩波書店の新日本古典文学大系の萬葉集（全四巻構成）です。こちらにも全文訳と注釈がついています。歌や人物の背景を知りたい時にはこちらをお勧めします。より萬葉集の世界に浸れるシリーズとなっています。

### ○お手軽に触れたい人へ○

『万葉秀歌』（岩波新書） 911/サ 岩波書店 斎藤 茂吉著

こちらは上下巻構成の新書です。今回紹介する万葉集の中では一番持ち運びのしやすい形態です。この本は万葉集の短歌のみ、そのうえで「すぐれた歌を巻毎に拾うこととし」たスタイルです。

『万葉開眼』 911/ツ 日本放送出版協会 土橋 寛著

和歌を詠んだ歌人ごとにまとめた本です。上下巻です。なかなか把握しづらい和歌の背景などがつかみやすい本になっています。特に著名な歌人たちに焦点を当てているため、万葉集入門編としてもよいかもしれません。